

在宅医療  
講演会

# 人生の最期の 生き方を 自分で 決めてみませんか？

現在は高齢社会とも多死社会とも言われています。昭和30年代は年間70万人の方が、そして平成20年以降はその2倍の140万人の方が亡くなっています。

しかし、自分の死について、「もし自分が回復不能の病気だったら、どういう医療を受けたいですか」についての議論は少ないように思います。それは市民の方に、医療がわかりにくいものだとすることがあります。

その反省を踏まえ、胃ろう、心肺蘇生などの説明もさることながら、終末期現場での患者さん本人の医療に対する希望が不明なために起こる治療の混乱について報告を行いながら、終末期の治療について考えたいと思います。

平成25年 **11月17日(日)** 午後1時～4時  
(開場12時30分)

**場所** 宇治市生涯学習センター第1ホール

**定員** 200名  
(申し込み不要)

参加  
無料

基調講演

箕岡 真子 氏(東京大学大学院客員研究員/箕岡医院内科医師)

シンポジウム

訪問看護・在宅医・勤務医それぞれの立場から報告



箕岡 真子 氏

**問い合わせ** 一般財団法人宇治市福祉サービス公社(宇治市宇治琵琶1-3) TEL.0774-28-3154

主催/一般社団法人宇治久世医師会、一般社団法人京都府訪問看護ステーション協議会、一般財団法人宇治市福祉サービス公社  
後援/宇治市・城陽市・久御山町・山城北保健所・京都府医師会